

# 計測自動制御学会 中部支部 光波応用技術研究会 終了企画

光波応用技術研究委員会 成瀬 央

2009年11月18日

日時:平成21年12月17日(木) 14:00~17:00

場所:名城大学 天白キャンパス 共通講義棟 北N102 講義室

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地

地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前」駅下車、1番出口(右)徒歩約8分です。

大学への交通アクセスは <http://www.meijo-u.ac.jp/guide/access.html>、

建物は <http://www.meijo-u.ac.jp/campus/shisetsu/tenpaku.html>

をご覧ください。

講演:

1) 産官学連携による岩盤斜面モニタリングのための技術開発(14:00~14:40)

講演者:京都大学 西山哲准教授

写真測量技術を応用した画像処理や、岩盤設置小型発信機からの電波の位相差計測による微小岩盤変形検出検証結果について、実際の計測例を基にして紹介する。これらの研究は、斜面防災を目的とした産官学連携の取り組みとして進められている。

2) 光ファイバの振動を用いた高速光コヒーレンス内視鏡(14:45~15:25)

講演者:東京工業大学 井砂亮一日本学術振興会特別研究員

圧電振動子を用いて光ファイバを振動させることで、数10kHzの高周波数でも適用可能な光走査法を提案している。この方式と光コヒーレンストモグラフィを用いた内視鏡プローブを試作し、3次元・動的断層像測定を試みた結果について報告する。

3) 長ゲージFBGを用いたOFDR方式ひずみ分布計測システムの開発(15:35~16:15)

講演者:宇宙航空研究開発機構 井川寛隆主任研究員

開発してきた、比較的長いゲージ長をもつFBGを用いたOFDR方式高精細ひずみ分布センシング技術とシステム、また計測事例を紹介する。この技術は計測が困難であった連続的なひずみ変化を、1mm以下の空間分解能で計測できる特徴を有する。

4) 長大橋構造ヘルスマニタリングシステムの開発(16:20~17:00)

講演者:清水建設株式会社 岩城英朗副主任研究員

光ファイバ分布センサ(B-OTDR)を、実際の長大斜張橋に対して大規模適用した構造ヘルスマニタリングシステムの構成および結果例を示し、あわせて設置から現在までの運用状況を紹介します。

参加費:無料

問い合わせ・申込先:

三重大学大学院工学研究科 情報工学専攻 成瀬 央

電話/FAX 059-231-9456 E-mail:naruse@pa.info.mie-u.ac.jp

申し込みは、12月10日(木)までお願いいたします